

地域包括ケアだより 第3号

県内市町における地域包括ケアシステムの推進に向けた先行・先進的な取組を紹介するため、「地域包括ケアだより」を発行しています。

第3号では、行政と生活支援コーディネーター（社会福祉協議会）、運転ボランティアが一体となって移動サービスの立ち上げを行った「かなみおでかけサポート」の取組を紹介します。

★住民主体の移動サービスの創出 函南町における移動サービスの取組

概要

「かなみおでかけサポート」(2019年1月から運行開始)

運営主体	函南町社会福祉協議会
利用対象者	移動に困難さを抱えている方
活動内容	乗車場所から函南町内の希望の居場所への送迎
運転手	運転ボランティア
利用車両	函南町社会福祉協議会が契約するリース車両
利用料金	年会費1,000円 ※送迎にかかる利用料は無料
利用日	週4日(火・水・木・金)



背景・取組のポイント

函南町では、住民アンケートや住民の勉強会でも、「移動支援」に対する課題が挙げられることが多く、町としてどのような移動サービスを創出していくのかが課題であった。こうした中、町と生活支援コーディネーター（町社会福祉協議会）が共に知恵を出し合い、企画段階から運転ボランティアの方にも入ってもらい、一緒に検討していくことで、移動サービスの立ち上げにつながった（介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスDに位置づけて実施）。

経緯

「かなみおでかけサポート」の実施まで	
2018年 7月	・ <u>運転ボランティア養成講座開催</u> （講師：NPO法人全国移動サービスネットワーク） 修了者14人全員が運転ボランティアの会員登録
2018年 7月～	・ <u>ボランティア連絡会の開催</u> （2か月に一回程度、不定期開催） 運転ボランティア修了者14人
2018年 10月	・ <u>かなみおでかけサポート試行運行開始</u> ・週2回（火・木）の運行に向け、試行運行
2019年 1月～	・ <u>かなみおでかけサポート本格運行開始</u> ・週3回（火・水・木）の運行から開始 ※現在は週4回（火～金）の運行

同じ志を持った仲間と活動するのが楽しい！



運転ボランティア

利用実績

○かなみおでかけサポート事業の稼働状況

	利用会員	協力会員
実人数	17人	15人
延べ利用・活動人数	198人	157人

※2018年10月～2019年3月分

※期間中、48回実施（2018年10月～週2回／2019年1月～週3回運行）



活動の様子

立ち上げにあたっての工夫

・町行政、生活支援コーディネーター(町社協)、運転ボランティアが三位一体となって実施

区分	実施内容
町行政	<ul style="list-style-type: none"> ・移動サービスの方向性の提示、補助金制度の創設 ・住民への補助金制度の説明・周知 ・立ち上がった移動サービスの周知・広報
生活支援コーディネーター(町社協)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートや訪問等による地域ニーズの把握 ・講習会・連絡会等の開催による担い手の発掘 ・先進地視察ツアー等の企画・運営 ・行政と運転ボランティア、住民等との橋渡し
運転ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転の知識・技能の習得 ・利用者の発掘、協議体や勉強会等での取組紹介 ・利用者の困り事に沿った移動サービス内容の提案
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・移動サービス実施内容の企画・試行運転の実施

運営継続の工夫

○運営継続に向けた実施内容及び効果

実施内容	効果
先進地視察	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に事例を見て、活動者から生の声を聞くことで、新たな視点が得られ、モチベーションアップにもつながる。
補助金制度への位置づけ(訪問型サービスD)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営面での財政的基盤の安定性の確保 ※車両リース代、ガソリン代等へ充当
運転ボランティア養成講座の継続開催	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転に対する心構え、運転技能等の向上 ・新たな運転ボランティアの担い手の確保
ボランティア連絡会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や利用者の声、課題の共有 ・利用者のニーズにあった移動サービスの創出

町内他地域への広がり

・以前から移動支援の課題が挙がっていた町内他地区(パサディナ区)を生活支援コーディネーターが直接訪問し、「**かなみおでかけサポート**」の取組を区長に紹介。
 ・「**自分が運転を辞めたときに利用できる移動サービスの仕組みを作りたい**」という区長の**思いが実を結び**、自治会が運営主体となり、住民主体の移動サービスが立ち上がった。

<参考情報>「高齢者福祉交通システム」(2019年8月から運行開始)

運営主体	函南パサディナ区自治会
利用対象者	65歳以上で、交通手段に不便をきたしている地域住民
活動内容	自宅から函南町内のスーパーや公民館等への送迎
運転手	運転ボランティア
利用車両	函南パサディナ区自治会が契約するリース車両
利用料金	無料 ※ガソリン代実費相当額の支払有
利用日	火・金・6のつく日
活動実績	運転手:8名、のべ利用人数:578人 ※2019年8月~12月分



運行の様子

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

3 すべての人に
健康と福祉を



問い合わせ先:

函南町福祉課 電話 055-979-8126

E-mail fukushi@town.kannami.lg.jp

発行者:

静岡県健康福祉部長寿政策課 電話 054-221-2336

E-mail chouju@pref.shizuoka.lg.jp